

注意！！今月は下部に虫の写真があります。

# 生薬ニュース

近畿大学東洋医学研究所附属診療所調剤室

## カッコンとは・・・

カッコン： *Pueraria lobate* Ohwi はマメ科の植物の根で、日本、朝鮮半島、中国～東亜温帯各地に広く分布しています。

大和の国栖（くず）の人がこの植物の根からとったでんぷんを『国栖粉』という名前で諸国に売り歩いたのが由来で、現在も『吉野葛（よしのくず）』として知られています。



カッコンはその繁殖力が有名で、地上部では、写真のような紫の花を咲かせることは稀で、マメ科特有のつる草がどんどん地上を這い、地下では太く長い繊維性の強固な根が地中深くまで伸びていきます。この特性を生かし、以前アメリカの乾燥地の緑化のため輸出されたのですが、その旺盛な繁殖力で増えすぎてしまい、また駆除する作業員の足にまわりつく蔓（つる）で歩くのも困難になるほどで、現地では『モンスター』と呼ばれていたようです。日本での繁殖がアメリカと比較して深刻でないこと  
の理由として、害虫（オジロアシナガゾウムシ、トビロスズメ、タムムシやカメムシ）の存在が考えられるようです。アメリカ

は害虫も一緒に輸入すればよかったのかもしれませんがね。

【性味】 甘辛・平

【薬効】 解表、透疹（とうしん）、生津止瀉、昇陽止瀉

## 今月のピックアップ°

かっこん  
葛根

トビロスズメ



オジロアシナガゾウムシ

## カッコンの成分とその効果

カッコンの主な含有成分は、デンプン、イソフラボノイド配糖体（プエラリン）、イソフラボノイド（ダイゼイン、ゲニステイン）など、マメ科によくみられる成分が主です。薬理作用としては、解熱作用、鎮痙作用、副交感神経刺激、血圧降下などが挙げられます。また薬能（生薬の効果）として、上で述べたように、解表（体の表面の症状の治療）、透疹（麻疹の治療）、生津止瀉（口渴の症状の改善）、昇陽止瀉（下痢の治療）など、薬理作用もそうでしたが、多岐にわたる効果が期待できることが伺えます。

## 葛根湯は何に効くの？

カッコンを含む漢方薬でよく知られているのは『葛根湯』でしょう。この葛根湯はカッコンの他に、マオウ（麻黄）、ケイヒ（桂皮）、ショウキョウ（生姜）、タイソウ（大棗）シヤクヤク（芍薬）、カンゾウ（甘草）が含まれています。その使用用途は様々で、一般的には感冒症状に利用されることが多いですが、実は、葛根湯の効果はこれだけにとどまらず、他にも下図のように様々な効果が期待でき、いろいろな症状の方が服用されています。

落語の『葛根湯医者』という演目をご存知でしょうか？ヤブ医者小話の一つですが、作中で取り上げられる医者は、どんな患者、例えば頭痛でも下痢でも葛根湯を処方するというヤブ医者の話です。実際は名医だったのかもしれないですね。



## カッコンを含む方剤・・・

かっこんとう  
葛根湯 (感冒、鼻かぜ、炎症疾患、肩こり、蕁麻疹)

じんそいん  
参蘇飲 (虚弱な人の感冒、咳)

かっこんとうかせんきゅうしんい  
葛根湯加川芎辛夷 (鼻づまり、蓄膿症、慢性鼻炎)

ほんとうとう  
奔豚湯 (下腹部から胸に向かって動機が突き上げてくる感じがして、腹痛、往来寒熱する場合、不安神経症)